

大阪ひがし幼稚園イベントの野草摘みと千刈ダムトレッキング

日 時 27年5月14日(木)

集 合 JR道場駅 10時

参加者 浅野 石原 大石 児玉 坂根 杉谷 並木 畠中 日景 藤井 前窪 前野 万井
李三 日笠(15人)

会 費 400円

道場駅にて、児玉さん・並木さんの車にアヒージョ用材料やトレッキングに不用な荷物を風キャビンに運んでいただくようお願いし、身軽に千刈ダムへとトレッキング開始しました。踏切渡り、右に武庫川の流れに沿った道を1キロ余り歩くと千刈貯水場正門に到着しました。ダム下の広場は毎年桜の季節には一般開放され、地元の道場町観光協会主催で千刈桜祭りが開催されていますが、今は入ることが出来ないので、横の波豆川沿いのハイキング道を歩いて行きました。ダム湖に到着して横の階段を上がり、迫力あるダムの流れにしばし見とれてから、樹木観察しながら階段を下りました。コックバネウツギ、タツナミソウ、アマドコロ、オニグルミ、ジャケツイバラ、ツメレンゲ(花9月～11月)ノギラン(花6～8月)と珍しい草花も見ることが出来ました。



千刈ダム



タツナミソウ



ジャケツイバラ

帰り道では今日の目的でもある野草摘みです。各々担当(ヨモギ、クズ、白・赤ツメクサ、スギナ)の野草を摘みながら、12時過ぎに風キャビンに到着。前もって日笠さんが火を起こしてくださっていたので、すぐアヒージョ、スパゲッティと準備が出来て、皆でおいしくいただきました。準備していただきました担当の皆さん、有難うございました。ご馳走様でした。



昼食後の例会では来週の男里川での調査の仕方（今回のテーマは6月4日の近木川の生き物調査とも合わせて、三種のホンヤドガリ類を見分けて、分布を確かめる。）を海担当の児玉さんより説明があり、有志で借りている畑のレタスをいただいて、3時ごろ解散しました。

千刈ダム（千苅ダム）

千刈貯水池は武庫川水系の羽束川（はつかがわ）及び波豆川（はずがわ）を水源とする神戸市で一番大きい水道専用の貯水池で表面が石張りの重力式コンクリートダムです。

平成10年に国の登録有形文化財に登録され、近代土木遺産にも位置づけられています。

ダムの堤高	42.42メートル
ダムの堤長	106.6メートル
有効貯水容量	11.612.538立方メートル
湛水面積	112.2平方メートル
集水面積	94.5平方キロメートル
最大水深	35メートル
目的	水道用

アヒージョ

スペイン語でニンニク風味を表す言葉であり、オリーブオイルとニンニクで煮込む、マドリード以南の代表的な小皿料理の一種です。

材は多種多様で、ちぎったバゲットにオリーブオイルをたっぷり浸して食べると最高！！

坂根 前野 日景 前窪

（記録：前窪 写真：坂根）